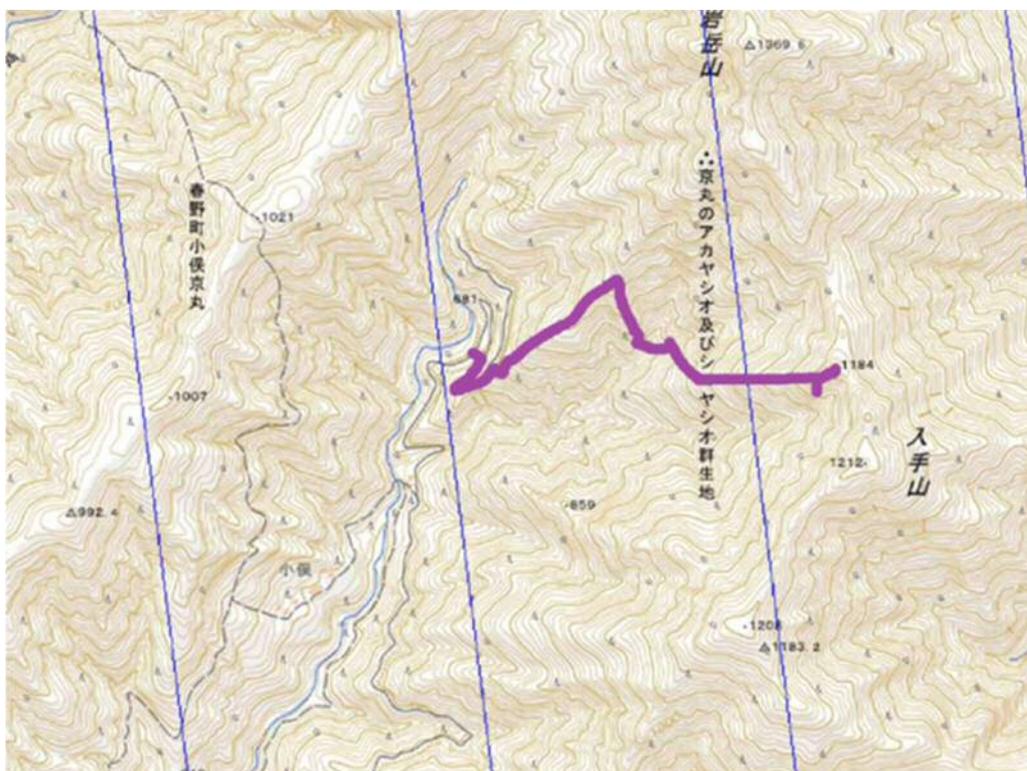


2024/10/26(土) 曇り

入手山

メンバー L 齋藤(記) 坂野、宮本



自身としては3回目となる捜索。今回は入手山から北へ約300mの1184から西へ延びる尾根が対象。坂野会長と宮本さんの3名で行った。

1184には西に向かって明確な踏み跡があったが、いざ歩いてみると高低差100m付近で早々に消えてしまった。地形図ではすんなりと歩いて行けるように見えるが、実際には道の崩壊や藪、倒木などがあって非常に歩き難く、70代の体調不良の方がわざわざこのルートを選択して林道まで出ようとしたとは考え難い。

道が悪いので元のルートへ引き返そうと思ったが、現在時刻から逆算するとヘッドレン残業確定。3人で話し合いをして、このまま予定通りに進んで捜索範囲をひとつずつ減らしていこうと話がまとまった。未知のルートを歩き続けることは最悪ビバークになる可能性を含んだ結論である。

この西尾根は末端まで行ってしまうと沢にぶつかってしまうので、どこかでトラバースして北か南の尾根に乗るしかない。南はキマタ山から延びる北西尾根なので敢えて行くルートではないであろう。よって計画通り北尾根を目指してトラバースを始める。ザレた道を慎重に滑り降りながら横移動をしていく。

12:40 頃、沢の出合いに着く。沢の水で顔を洗って汗を流す。口に含んでみると予想以上に温かい。あまり飲まない方がよさそうな気がしたので少量にしておいた。

地形図から読み取れることは、この向こうにもう一つ谷があること。目の前に取り付きしやすそうな斜面があるが、それに乗ったとしてもまたすぐに谷へ降りなければならない。よって現在の谷を数 100m ほど下流へ移動して、そこから北尾根に向かって取り付く。

10 分ほど登ったところで作業道らしき道に出た。そこから西にある林道へ向かって歩く。今までよりは歩き易いが、藪はやっぱり邪魔。そうこうしているうちに林道へ出た。林道であるがまだ安心はできない。崩壊しているのだ。5 月 19 日の柴田 L 山行で事前確認をしているので驚きは無いが、ザレた斜面を降りていくのは神経を使う。一部ロープを使って安全に下降をした。

今回の 1184 西尾根。先にも書いた通り、体調不良の方が単独で歩く道ではないと思われる。次にあり得るのならばキマタ山から北西に延びる尾根。途中の 859m から林道に至るまでの道はまだ誰も搜索していない。遭難者が「敢えてピストン以外の道」を選択したのであれば、このルートが考えられる最後の選択肢であろうと自分は考えている。

次の搜索はこのルート。このルートも違うとしたら、遭難者にとって「想定外の出来事」があったのであろう。とするならば次はピストンルート上にある滑落しそうな所。この谷の下搜索は湧水が少ない冬場かつパーティで行くべきと思っている。

7:30 シンフォニー前駐車場 発

9:55 入手山

10:20 頃 1184m

12:40 頃 尾根から外れ、トラバース後の沢出合い

13:10 頃 二つ目の沢を越え、尾根に取り付く

13:20 頃 800m 付近。明確な作業道あり

17:10 シンフォニー前駐車場 着



10:20 頃 1184m 付近



12:40 頃 沢の出会い



二つ目の沢を越えて、尾根に取り付く



13:20 頃 作業道(?)を歩く